

## 平成 30 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 31 年 2 月 12 日

学 長 殿

所属部局・職名 地域創造支援センター・教授

申 請 者 名 大 越 正 弘

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書 <u>学会等運営</u> ・学会参加) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事 業 名	産学連携学会 産学・地域連携セミナー
事業実施期間	平成 31 年 2 月 8 日 (金) 14 : 30 ~ 19 : 00
成 果 の 概 要	<p>近年、人工知能 (AI) やビッグデータ、再生可能エネルギー、ヘルスケア、ロボット等の新たな技術知識が、我々の日常生活の中に浸透するにしたがって、産業界はもとより行政機関の抱える技術課題や行政課題も複雑かつ高度化してきており、従来以上に産学官連携による課題解決が重要になって来ている。</p> <p>そこで、大学や企業における取組みを振り返りながら産学官連携の問題点や課題を明らかにし、産・学・官各セクター間の知識フローに関して理解を深め、産業の高度化やイノベーション創出へのヒントを得ることを目的に、本セミナーを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日時：平成 31 年 2 月 8 日 (金) 14 時 30 分 ~ 17 時 00 分 交流会 17 時 30 分 ~ 19 時 00 分</li> <li>・ 場所：郡山商工会議所会館 6F 中ホール A 福島県郡山市清水台 1-3-8</li> <li>・ 主催：産学連携学会東北・北関東支部</li> <li>・ 共催：福島大学地域創造支援センター、 ふくしま産学官連携コーディネータ会議</li> <li>・ 後援：ふくしま新産業創造推進協議会、郡山地域テクノ ポリス推進機構、いわき産学官ネットワーク協会 会津産業ネットワークフォーラム、産業サポート 白河、ゆめサポート南相馬</li> <li>・ 参加者 58 名 (県内企業、産業支援機関)</li> </ul>

○開催概要

セミナー開催日（2/8）は、郡山市内で福島民報社主催の産業賞授与式や経団連郡山支部賀詞交歓会等のイベントがあり、参加者が少ないのではと危惧されたが、本学関係者を除き58名の参加を得ることができ、その後の交流会にも21名の参加があり活発な意見交換、情報交換が行われた。

1.あいさつ

産学連携学会東北・北関東支部代表

（弘前大学 教授） 内山 大史 氏

※学会が本セミナーを福島で開催するのは初めて

2. 基調講演 14:30～15:20（50分）

「産学連携による地域活性化～支援制度と橋渡し人材の活用」

科学技術振興機構 産学連携フェロー 二階堂 知己 氏

※産学連携の問題とマッチングの難しさを解説

3. 講演 15:30～17:20

(1) 「福島イノベーション・コースト構想が目指すもの」  
福島大学 教授 小沢 喜仁 氏

※全体プロジェクトを詳細に説明

(2) 「みちのくコンソーシアムと地域活性化」

山形大学 教授 小野寺 忠司 氏

※大学発ベンチャー企業育成について発表

(3) 「近未来技術による新産業の創出」

東北大学 教授 長谷川 史彦 氏

※NICHe が取組んでいる自動走行やEVについて発表

(4) 「菊池製作所の新分野への取り組みと社会実装」

（株）菊池製作所 副社長 一柳 健 氏

※これまで取組んできた産学連携事例を発表

(5) 「産学連携による透析用水素濃度モニターの開発」

（株）ピュアロンジャパン 取締役 大井 貴史 氏

※透析用水素濃度モニターの開発秘話